



—ステップ—

# STEP あなたのランチが誰かのいのちを救う。 香川大学のTable For Two

「初夏のいいとこ鶏井」「南国風タコライス」「とろとろオムライス」ビスクソースがけ」：幸町キャンパスの生協食堂で毎月1週間だけ登場するTFTメニューを知っていますか？これは、あなたがTFTメニューを食べることで1食ごとに20円が寄付され、飢餓で苦しむ人に1食分の食事を提供できるという「食べる国際貢献」。さながら1食を2人で分け合って食べることからTable For Two(TFT)と名づけられ、企業や大学を中心に支援の輪が広がっています。

STEPはTFTを香川大学で6年前から行っている学生サークル。現在は法学部2年生の新垣葵さんが代表を務め、教育・法・経済・農学部の1年から3年の女子学生16人で活動をしています。

「TFTは世界の肥満と飢餓の問題を同時になくすことを目指しているの、野菜が多めで体に良く、ボリュームもあるメニューを考えます」。STEPのメニューは季節感を取り入れたテーマと旬の素材からメニューを決め、試作し、生協食堂の店長さんに提案。生協側とコストを相談し、試作を繰り返し返してTFTメニューが誕生します。「毎回自信を持ってお出ししているので、TFTメニューを注文している人を見かけると

とても嬉しい」と新垣さんは話します。TFTメニューが登場する1週間は、各テーブルの上にはPOPを、食堂内にはブラックボードを出して、メニューとTFT、STEPの取り組みをアピールしています。

現在のように生協食堂でTFTメニューを提供できるようになったのは、STEP設立から3年後でした。現在、生協の店長さんはよき理解者で、農学部の生協食堂でもTFTメニューが食べられるようにしてくれたり、「次は2階のカフェ空海でもランチセットを出しては？」などと提案をくれる、頼りになる存在なのだそうです。

活動は学内だけにとどまりません。商店街のカフェと協力してクッキーを作ってもらったり、サンポートで行われるフェアトレードまつりに出展したりと精力的に動いています。

「食べておいしいものを作るのも大切なのですが、今後はもっと香川大生に食べる国際貢献としてのTFTを知ってもらいたい」と新垣さん。「現在1年生は1人だけなので、STEPの活動に興味のある後輩を増やしたい。今後は広報にも力を入れたい」と語ります。生協食堂は地域の方も気軽に利用できます。次に利用する時にはTFTメニューがあるか、探してみてくださいね。



野菜がたっぷり、美味しい南国風タコライス。